

# おおとり会だより

つれづれなるままに



静岡県立大学・静岡県立大学短期大学部

学長 木 苗 直 秀

皆様には健やかに新しい年をお迎えのことと存じます。遅くなりましたが、昨年三月より学長を務めております木苗と申します。よろしくお願ひ申し上げます。学長就任以来、「個を拓(みが)き、強い絆で知を発信」をキャッチフレーズとして、総合大学としての歩みが続けております。

一昨年のリーマンショック以降、世界的な不況が続いております。昨年四月にメキシコで発生した豚由来の新型インフルエンザは米国、日本、EU諸国を含め世界的流行(パンデミック)の兆しがみられ、大きな社会問題となっております。さらにわが国では政権交代に伴う各種事業の仕分けと見直しがあり、これらはいずれも大卒における教育、研究、産学連携、就職支援などに少なからず影響をもたらしています。

ところでわが国は世界で一、二位を争う長寿国となっており、昨年は百歳以上の超高齢者が四万人を超え、七十五歳以上の後期高齢者も全人口の十七%に達しています。近年、多くのヒト介入研究から食品成分が疾病や老化の予防に有効であることが明らかにされています。また、食生活の欧米化による内臓脂肪肥満は高血圧、高血糖、脂質異常などの誘因となり、さらに「メタボリックシンドローム」を引き起こし、糖尿病や歯周病、癌を含む生活習慣病に導くことから、平成二十年四月より特定健診や特定保健指導が行われています。

ところで私の周辺で、心の悩みを訴えるヒトが急速に増えています。実際に大学生を含む若いヒトの引きこもり、不登校、家庭内暴力が、

成人のPTSDや統合失調症、うつ病などが報告されています。毎年自殺するヒトが三万人を超えていることを考えると、その原因の解明と対策は急務となっております。私達は日常的に無意識のうちに多様なストレスを受けています。そこで、その原因を取り除くこと、また食生活を含むライフスタイルを改善することが有効であると考えられます。食を通してストレスに強い体を作るためには、糖質、脂質、タンパク質をバランスよく摂ること、カルシウム、鉄、亜鉛、銅などのミネラルや、ビタミンB6、ビタミンC、ナイアシン、葉酸などのビタミンを十分に摂ることが大切です。さらに、何でも話し合える友人を持つ、趣味を持つ、軽い運動をするなどが心身をリラックスしてくれるツールになるでしょう。

私がお世話になった本学食品栄養科学部では平成十八年に「健康と長寿への挑戦―食品栄養科学からのアプローチ―(南山堂)」を出版しました。これからの健康と長寿を食の面から追求した三十二名の教員の研究成果をまとめたもので参考にして頂けると幸いです。

私は現在、多くの学生、教員、事務局スタッフ、そして学外の方々とは接する毎日を通じてお祈りしています。それ故、常に心身ともに健康でいたいと願いつつ行動しております。毎日弁当を持参し、時にはランチミーティングと称して学長室で学生や教員と昼食と会話を楽しみ、時間があると学内を回り、若いエネルギーを吸収させて頂いています。未筆ながら皆様の益々の御健勝と御活躍をお祈り申し上げます。

## ギター&マンドリン部

音楽の素晴らしさを広め、毎年五月に静岡大学マンドリン部と合同コンサート開催等、他大学との交流にも積極的に取り組んでいます。



## 新入生歓迎委員会

新入生を対象とした様々なイベント開催により学生間の交流やサークル活動の活性化等に大きく貢献しています。

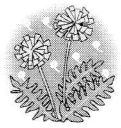


## はばたき寄金

平成二十一年度『おおとり会賞』は、左記の二団体が選出され、平成二十一年四月二十四日に行われた開学記念行事において、木苗学長から表彰されました。

## 恩師の近況

### 時の流れに寄せて



元 英文学教授

畑 光夫

年賀状を見ていると人の一生の流れを感じる。先輩・同僚からの便りには死亡、病氣・入院が多くなり、教子からの便りには、定年退職、息子の海外留学、娘の結婚、孫の世話、親の看病などの項目が報告されている。ここには誕生から死に至るまでの人間の辿る道筋が見えてきて、これを機会に自分の過去を振り返り、将来を展望するきっかけが与えられる。

よく人生はマラソンに例えられるが、スタートとゴールの間を走るといふ点が、生と死の間を生きる姿勢に似ているからと考えられる。フルマラソンを走った経験を振り返ると、20キロまでは快調に走れるが、35キロ過ぎてからは足が重く痛くなり一歩ごとに「やめるな、諦めるな」と自分に声をかけながら、やっとの思いで完走してきた。これだけ苦しい経験をして、水を飲み、汗を拭いて、着替えると、また来年も来ようという気持ちで沸々と湧いてくる。この不思議な心の変化は、走り切ったという達成感のもたらす効果であろう。人生においても心身の労苦を重ねながらも自分の選んだ職業で日々努力を重ねて進歩を続ける原動力は、目標を掲げてそれに向かって一歩一歩近づく過程と、そのあとに来る達成感があるためではないであろうか。

私の場合フルマラソンは62歳、10キロレースは75歳で打ちあげ、81歳の現在は毎日1時間の散歩にまで後退している。高校、短大、大学、大学院と50年間教師を続け、75歳で、職業活動に終止符を打った人人生行路との間に共通点が認められる。練習を積み上げると記録が伸びるよ

うに、努力と研鑽をつむと仕事のレベルもそれなりに向上する。老化とともに心身が弱ってくるのは致し方がない。しかしその速度は生き方次第で変えられると思う。ひとつは新しいことに挑戦して脳の活性化に努めることである。常葉学園大で新しい講座「パフォーミング・アーティスト イングリッシュ」を新設した。音楽教材を使って生きた英語に親しみ、英米文化に直接触れる機会にした。パソコン、デジカメ、携帯電話を利用することも、脳の活性化に大いに役立つ。若い教え子から手ほどきを受け、機会があると息子や孫に質問して自分の活用範囲を広げるように努力している。老いては子に従えを地でいっている。

聖書原典を学ぶのに日本語で利用できる書物はごく限られているが、英語で出版された無数の書籍をインターネットで購入すれば早く安価に入手できる。さらにはウェブサイトも利用できる。

振り返りみると、生まれて初めて英語のアルファベットを習った時から数えて69年、その間一九五七年のフルブライト留学をはじめ、職業の上でも、趣味の世界でも英語の知識は私の人生の味わいを深めてくれるのに大変役立つてくれた。

### ライフワークと近況



元 一般教養教授

中田 修

「この拓きし丘にはげしきもの興るといふにはあらね花摘々と」これは哲学の高原博先生の歌ですが、静岡女子大学のイメージとして私は気に入っています。その静岡女子大学の開学二年目に私は非常勤講師として、そして三年目から専任講師として教員組織に加えられ、大学の閉学（残念！）まで勤務し、外国語科目の英語を担当しました。

さて、ライフワークですが、もちろんそんな大それたことをしているわけではありません。いつまでたっても仕上らないひとつの翻訳の仕事を茶化して「自称ライフワーク」と呼んで、友人・知人に言いふらしているのです。それがおとりの会まで聞こえていったようで、表題のような注文が舞い込むことになったようです。翻訳しているのは『世界最悪の旅』という題の本でスコットの南極探検のことを隊員の一人が書いたものです。一九二二年初版以来ロングセラーの本で、この分野の古典になっています。二冊で六八〇ページほどあります。

ところで私は英文学教科の英文学の科目も一、二担当して、その時間には専ら英詩を読んできました。またフィリップ・シドニという人の詩を訳して『シドニ詩集』という本を出したりもしたので、英詩と南極探検とはあまりにかけ離れていて、一体どうして？という感じを持たれる恐れがあります。今度たいへんよい機会を与えられたので、一寸その説明をします。英語や英文学の教員にはイギリスやイギリス人のしたこと、していること何にでも興味のある人が少なくないようです。そういう人々の大先輩に有名な東大英文科教授だった中野好夫という人がいます。中野氏は英文学の著述と翻訳のほかに『アラビアのローレンス』と『南極のスコット』という本を書いています。そして実はスコットや隊員の数人は槍引きの旅にブラウニングやテニソンなどの詩集を携行していました。詩を作る人も一、二ありました。元来詩と探検はイギリス人の著しい特質であり、どちらも想像力を基にしています。それやこれやで英詩と南極探検は私にとっては両者が混在して矛盾がないのです。

それで自称ライフワークはといますと、数年前にひととおりの訳ができたのを、いまは初めから原文と対照して修正する作業を繰り返しているのです。何回か繰り返しもういいはずと思っても、やってみるとまたたくさん修正があります。粗雑なんです。しかし自分が進歩しているということもあるようです。ときどき辞書を確かめながら、少しづつ、休み休み、ティータイムをしながら、ときには探検隊にならってココアを入れたりしますが、それを続けているのが近況ということになります。ではみなさんお元気で。

# 国民文化祭&同窓会

国文学科 (短大十回卒)

## 岸 浩子



国民文化祭の短歌大会が熱海で開かれるという情報を得たのは一昨年の秋口だった。その時から、わが街熱海で同窓会を開き、学友

打揃って短歌大会に参加したいという豪勢な夢が胸に膨らんで来た。善は急げと皆に企てたり、昨年春先から、旅館探しに執念を燃やすと同時に、同窓生の皆様に短歌大会への応募を呼びかけ、私自身も二首を投稿した。

そして秋。国文祭の幕が開き、七人の友人が駅に降り立った。美術館で麗しい品々を愛でた

## もう35年!!

被服学科 (大学五回卒)

## 近藤 和恵



理事会の会合にいつも連れていった末娘も今春結婚しました。月日の流れの早い事を痛感します。子育ても一段落しましたが、一つ

後悔している事があります。末娘が幼稚園の時です。登園をしぶった娘を、私はぶってしまつたのです。たった一度の出来事ですが、20年経つた今でも心のわたかまりとなつて居るのです。娘の結婚を期に、さんげの手紙を書き、心のかせをはずす事ができました。子育ては、誉めて論じて、叱る事も必要ですが、手をあげて怒る事は禁物と、きもに命じておきたいです。これは

後ホテルに移動。格安料金でゲットしたスイートルームで、賑やかな報告やら相槌やらで夜は更けて行った。

翌日は短歌大会。高口さんや河合さんの投稿を含め、応募総数一七、〇一七首もの作品を得て、溢れるような熱気の中で大会は始つた。古

事記を題材とした岡野弘彦氏の講演に続き、今を時めく先生方の選評となつた。そして幸運にも私の作品、霧の這う逢魔が時の箱根路にハイビームざらりとジャガー現わるが佐佐木幸綱先生外に選ばれていた。「薄暗い箱根の高速道路の霧の中からライトをぎらつかせながらジャガーが現われる。面白いですね。ハイビームざらりが良い。一度聞いたら忘れられない響きがある」と

の佐佐木先生の講評だった。国文祭と同窓会を同時に楽しもうという、随分欲張つた企画だったが、私には一生忘れられない同窓会となつた。

孫の子守りの教訓とするつもりです。来年は夫も定年を迎えます。二人でトレッキングに励み、将来は、孫と一緒に富士登山をするのが夢です。長年おとり会理事をしてきて嬉しく思うのは、同窓会の剣祭参加が、年々盛況になってきています。当初は売り上げが二万円だったと思

います。ここ二年間は十万円以上の売り上げとなつています。近年は当番幹事が中心に協力して出品してくれています。パンや惣菜、昨年は布草履と様々です。私は数年おでんを出品していますが、「おふくろの味」を楽しみに来てくれる一般のファンの方もいます。剣祭では模擬店だけではなく、県大の模擬授業もあります。学生気分を味わうのもよいものです。お友達を誘い、美術館散策のついででもお立ち寄り下さい。オレンジカラーのジャンパー姿で待っています。

# みなさん お元気ですか

## 語学を楽しんで

英文学科 (大学九回卒)

## 谷 薫



私は非常勤講師として、静岡市内の私立学校に勤めています。中高一貫の男子校なので最初はその元気に圧倒されていました。でも、少し慣れた為か、若いジェントル

マン達の清々しい態度と内に込められた友への優しい気遣いに胸がジンとすることが多い今日この頃です。家庭と学校の半々の生活ですが、様々な経験を楽しむ今を頂けたのも、女子大時代に原点があるからだと思っています。当時、英文科の先生方のご講義を興

## 青春復帰

食物学科 (大学四回卒)

## 高橋 節子

十年ほど前二日三分すわつたまま、たつた四つの動作で健康に」のキャッチフレーズに興味を持ち、始めたのが真向法体操との出会いでした。最初は四つの動作なら一クール(半年)習えば良いだろうと思つていたのですが、良い先生、楽しい仲間恵まれ、二人ペアで行う補助体操も気持ち良く、生来固かつた体も少しずつ柔らかくなつて来て、今日まで続けてこられました。又真向法体操の奥の深さを知れば知るほど一人でも多くの人に知ってほしいと思うようになりました。赤ちゃんの時は誰も柔らかいの年を経るほど体は固くなつて行く。体を柔らかくしていれば今はやりのアンチエイジングになるのではないかと続

味深く受け、またESSの友たちと多く語りました。価値のある時間を持てたという満足感が、長年の時を経て心のどこかに留まっているように感じます。

畑光夫先生に卒論指導を受け、大学卒業後、企業に入り英文資料作成などに携わりました。家庭に入ってから通信教育等で語学を楽しみ、また近年の話をしますと、小田先生のシエークスピア読書会に参加し、沙翁の英語に再び触れる機会を頂きました。三年前、言語学の小泉先生がフィンランド叙事詩『カレワラ』について一年に亘って藤枝でご講義下さつた時も、毎回聴講させて頂き、先生との食事会など良い思い出です。実は、この原稿を依頼された日に先生の訃報を受け、驚きと悲しみに戸惑っています。

このように書いていると、今まで前向きに歩んでこられたことの幸せに気づき、その力を下さつた方々に、本当に感謝の念が湧いてきます。

けています。先生からこの体操は股関節を始めとして体中の関節を柔らかくするので高齢者の方々の転倒が減り、転倒による寝たきりの人を少なくすることにつながるのぜひ資格を取つて静岡でも広めたらと後押しされ、まず准教士の資格を取り、去年「チーム真向法」を立ち上げ生徒も少しずつ増えて来ました。その中には正座ができるようになった、最近は全くぎっくり腰にならなくなった、ゴルフも腰痛にならずに回れる等の報告も聞けるようになりました。今年の十一月には伊東で(社)真向法協会の全国大会が開かれます。元気な諸先輩達からやる気と知恵をもらい、牛歩でも一歩ずつがんばっていききたいと思います。

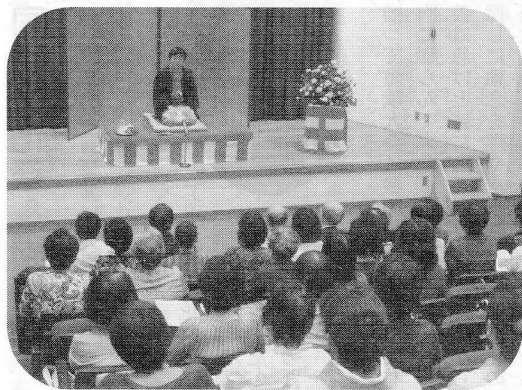


# 総会報告

平成二十一年、六月十四日。梅雨の間の日曜に、緑美しい谷田の丘で、総勢百余名が集い、『おとり会総会』が開催されました。かつては何の苦も無く通った茶畑の中の長い坂道を息切れとともに、年月の経過を感じながら登ってきた方々も多かったのではないのでしょうか。参加して下さった皆様、本当にありがとうございました。

第一部の総会では、新しく就任された木苗直秀学長が、大学にかける熱い思いと、おとり会への温かなご支援のお言葉をくださいました。

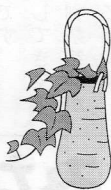
続いての第二部は、昨今の落語ブームにあやかり、清水区興津出身で、近頃真打ちに昇進された春風亭百栄さんをお招きしました。『谷田の丘寄席』と名を打ち、即席でしたが、金屏風を背に赤い毛氈を敷いた高座も用意され、いよいよ寄席が始まりました。私達の身



「谷田の丘寄席」春風亭百栄さん

近にある題材を取り入れたユーモアあふれる落語に、皆で傾いたり呆れ返ったりと会場は笑いの渦に包まれました。予定時間をオーバーしての熱演に、皆様大満足でした。来賓の方々を囲んでの懇親会も、いつにも増して和やかで楽しい会となりました。これからも、年に一度、皆で元気にこの坂を登り、静岡女子大同窓生の絆を深めていきましょう。

当番幹事  
英文学科（大学九回卒） 高橋喜代子



## 剣祭バザーから

平成二十一年十一月一日、晴天に恵まれた県立大学で剣祭が行われ、おとり会でも、バザーで参加しました。

今年も、おとり会会員による手作り食品や手芸品が数多く寄せられ、たいへんな賑わいとなりました。特に、昨年に続いて二回目となるタイカレーや、毎年恒例のおでんは、学生さんを始め、大勢の方からご好評を戴きました。

今回も、ご協力下さいました皆様に、心からお礼申しあげます。

毎年、十一月三日（祝）前後に、剣祭が行われ、おとり会もバザーを出店しています。皆さんも、ぜひお立ち寄り下さい。

## 剣祭バザー収益金

一一二、〇五一円

同窓会費に入金させて頂きます。

## 平成20年度 決算報告書

総収入 13,287,716円 支出 825,686円 残高 12,462,030円(繰越金)

自平成20年4月1日  
至平成21年3月31日

収入の部				支出の部			
費目	予算額円	決算額円	備考	費目	予算額円	決算額円	備考
受け取り利息	30,000	398,892	定額貯金・通常貯金・公社債	事業費	200,000	209,297	総会・剣祭・会報
基金入金	300,000	850,700	293件	会議費	80,000	67,339	役員会・理事会・当番幹事会・編集会議
剣祭余剰金	60,000	112,430		印刷費	200,000	120,735	おとり会日より、総会案内状・その他コピー代
雑収入	0	0		通信費	400,000	409,880	案内発送 90×4,230=380,700
				慶弔費	50,000	0	
				事務・雑貨品費	20,000	18,435	
				予備費	50,000	0	
小計	390,000	1,362,022		小計	1,000,000	825,686	
前年度より繰越	13,075,705	11,925,694	公社債評価損	次年度へ繰越	12,465,705	12,462,030	定額貯金・通常貯金・公社債・現金
総計	13,465,705	13,287,716		総計	13,465,705	13,287,716	

上記の通りご報告致します。平成21年3月31日  
会長/大石邦枝 会計/近藤和恵・瀧浪恵子  
監査の結果、相違なく適正と認めます。平成21年4月21日  
会計監査/長田直子・堀池美和

## 平成21年度 予算(案)

総収入 12,642,030円 総支出 12,642,030円 残高 0円

自平成21年4月1日  
至平成22年3月31日

収入の部				支出の部			
費目	20年度予算	21年度予算	備考	費目	20年度予算	21年度予算	備考
受け取り利息	30,000	20,000		事業費	200,000	200,000	総会・剣祭・会報
基金入金	300,000	100,000		会議費	80,000	80,000	当番幹事会・理事会・会報編集会議
剣祭収益金	60,000	60,000		印刷費	200,000	200,000	会報・総会案内状・会議用資料
				通信費	400,000	400,000	会報・総会案内状の送付、会議の通知
				慶弔費	50,000	50,000	
				事務・雑貨品費	20,000	20,000	
				予備費	50,000	50,000	
小計	390,000	180,000		計	1,000,000	1,000,000	
前年度より繰越	13,075,705	12,462,030		郵貯・公社債等	12,465,705	11,642,030	
総計	13,465,705	12,642,030		総計	13,465,705	12,642,030	

\*他費目への流用を認める

## 第18回 草薙の丘の集い

二〇〇九年五月二十四日(日)

『メルバルクKYOTO』において、元静岡女子大学英文学科教授の小泉保先生による講演『日本語と英語の構造の相違について』が行われました。

この京都での講演も、また六月のおとり会総会も、お元気にご出席下さった小泉先生は、昨年暮、ご逝去されました寂しいかぎりです。慎んで御冥福をお祈り申しあげます。

## 訃報

平成二十一年十二月十八日  
元静岡女子大学教授 英文学科  
小泉 保先生 八十四才

が御逝去されました。  
御冥福を心からお祈り  
申し上げます。



編集委員 佐藤 容子・高橋 節子  
石田 加苗・森 恵美